

就労に困難を抱えた青少年に対する就労支援組織への調査票

(※ここでいう「青少年」とは、15歳以上35歳未満のことをいう。)

- ① 組織名
- ② 代表者名
- ③ 電話番号
- ④ FAX番号
- ⑤ Eメールアドレス
- ⑥ 回答者名 役職

I あなたの組織についておたずねします

問1 あなたの組織はつぎのどれにあてはまりますか。(1つに○をつけてください。)

- 1 行政機関(国, 地方公共団体)
- 2 特定非営利活動法人(NPO)
- 3 営利企業
- 4 独立行政法人
- 5 社会福祉法人
- 6 医療法人, 病院, 診療所
- 7 その他の法人(具体的に)
- 8 任意団体(具体的に)
- 9 個人(具体的に)

問2 参加者には次のような経歴や障害を持つ人が見受けられますか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- ア 非行歴
- イ 発達障害(高機能自閉症、アスペルガー障害、ADHD)、LD
- ウ 知的障害
- エ 身体障害
- オ 精神疾患
- カ 社会的引きこもり歴
- キ 不登校歴
- ク その他()
- ケ ア～クのうちあてはまるものはない

問3 現在のスタッフの内訳を教えてください。

スタッフ		常勤	非常勤	合計
職員	運営機関直属の職員	人	人	人
	業務委託先の職員	人	人	人
ボランティア	有償ボランティア	人		
	無償ボランティア	人		
合計		人	人	人

問4 昨年一年間を通じて、何らかの形で問い合わせがあり、それに返答をした人は何人くらいですか。

おおむね () 人 くらい

II 活動内容についておたずねします

(あなたの組織で行っている活動のうち、主なもの一つを想定してお答えください。)
想定された活動名をお書き下さい(例：就職支援セミナー)。

<

>

問5 想定された活動の活動内容について、あてはまるものすべてに○をつけてください。その上で、下の空欄に具体的な内容をお書き下さい。

- ア 安定的な就労を提供すること(例 作業所での就労 雇用)
- イ 一時的な就労体験(雇用の実際的訓練)を提供すること(例 職場での就労体験 自分たちの活動としての作業体験)
- ウ 本人の職探しの過程を個別に支援すること(例 キャリアカウンセリング、職業相談)
- エ 職探しに関するスキルを提供すること(例 履歴書セミナー 面接訓練)
- オ 職業についての知識を提供すること(例 職業セミナー)
- カ 職場環境自体に働きかけ整えること(例 ジョブコーチ)
- キ (本人に代わって)就職先を見つけること(例 プレースメント)
- ク 就職活動前に、職場適応能力をあげること(例 対人関係セミナー)
- ケ その他

- ・誰が(例：職業カウンセラー、雇い主、ボランティア等)
- ・どのくらいの期間・頻度で、(例 3ヶ月間・週1回等)
- ・どこで、(例：職場で、事務所で等)
- ・何をねらいとして、
- ・どのような働きかけをするのか

問6 活動に参加されている方（支援の対象となる方）についてお聞きします。

① 現在、活動に参加されている方は何人くらいですか。

おおむね _____ 人 くらい

② 参加者の性別をお答え下さい。

ア 男性のみ

イ 男女ともいるが、男性の方が多い

ウ 男女ほぼ半々

エ 男女ともいるが、女性の方が多い

オ 女性のみ

③ 参加者の年齢構成をお答えください。

() 歳 ~ () 歳

④ 参加者が、最後に学校を出てからの就労経験で、一番多いのはどのような状況ですか。（一つに○をつけてください。）

ア 正社員をしていた

イ パート、アルバイトをしていた

ウ 働いたことはない

⑤ 参加者に、次のアからケの問題点をお持ちの方はいらっしゃるでしょうか。もしいらっしゃるなら、どの程度見受けられますか。次の5段階のうち、一番近いものに○をつけて下さい。

ア 集団の空気が読めず、
浮いた言動を取る (1. 全員 2. 半数以上 3. 半数 4. 半数以下 5. いない)

イ 人と話をするのが苦手 (1. 全員 2. 半数以上 3. 半数 4. 半数以下 5. いない)

ウ 打たれ弱い (1. 全員 2. 半数以上 3. 半数 4. 半数以下 5. いない)

エ プライドが高い (1. 全員 2. 半数以上 3. 半数 4. 半数以下 5. いない)

オ 就労支援がいったん終了したあとも、
フォローしなければならない (1. 全員 2. 半数以上 3. 半数 4. 半数以下 5. いない)

カ 他人が自分をどう思っているか
気になる (1. 全員 2. 半数以上 3. 半数 4. 半数以下 5. いない)

キ 一方的に自分が話したいことを話す (1. 全員 2. 半数以上 3. 半数 4. 半数以下 5. いない)

ク 要領が悪い (1. 全員 2. 半数以上 3. 半数 4. 半数以下 5. いない)

ケ こだわりが強い (1. 全員 2. 半数以上 3. 半数 4. 半数以下 5. いない)

⑥ どの程度の就業形態まで対象者を支援しようと考えていますか。（一つに○をつけてください。）

ア 正社員

イ アルバイト

ウ 働ければ就業形態にこだわらない

エ 前向きの変化があれば仕事まで結びつかなくてもよい

問7 これまでに、あなたの組織の支援が成功した事例を1つ以上とりあげて、ご紹介ください。

- ・ どのような人に
- ・ どのような支援を
- ・ どのような方法で
- ・ どれくらいの期間にわたって

行ったのか、また成功のポイントは何かなどについて、自由にご記入ください。

Ⅲ 最後に

問8 就労支援において大切だと思うことをご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

